

2019 年 7 月 12 日

埼玉県病院薬剤師会 会長 北澤貴樹 様
アンチ・ドーピング担当者 様

京都薬科大学
臨床薬学教育研究センター
教授 楠本 正明
講師 今西 孝至

「うっかりドーピング防止活動に対する薬剤師の認識および取り組みに関する実態調査」
に関するアンケート調査へのご協力のお願い（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本学の教育・研究活動に對しまして、一方ならぬご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2020 年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、オリンピック・パラリンピック開催地誘致において開催地として決定された要因の一つに「アンチ・ドーピング」がありました。

私たちは先行研究で、日本におけるドーピングの現状を調査したところ、医薬品によるドーピング違反（いわゆる、うっかりドーピング）が約 54%であったこと、さらに、日本で販売されている OTC 薬の約 14%（1,511 品目）がドーピング違反になる危険性が高い OTC 薬で、そのほとんどが指定第 2 類一般用医薬品であること、を報告しています。このような現状より、スポーツファーマシストだけでなく、医薬品の販売・授与に関与する薬剤師や登録販売者が薬物ドーピングのゲートキーパーを担えると考えております。

そこで、“うっかりドーピング”の防止対策を模索することを目的として、医薬品販売・授与に関与する病院薬剤師を対象に、アンチ・ドーピングに対する認識およびアンチ・ドーピング活動の有無や内容についてアンケート調査を行いたいと考えております。

つきましては、貴会に入会されている会員の皆様に本アンケート調査について周知して頂きまして、是非ともご協力をいただきたくお願い申し上げる次第です。

ご多忙のおり、まことに恐縮ですが、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

【アンケートへの回答について】

本アンケートは、Web（Google フォーム）を利用したアンケート調査です。ご多忙のところ申し訳ありませんが、以下の手順に従って、アンケートにご回答よろしくお願い申し上げます。

《アンケートの回答方法について》

- ① 検索エンジン（Yahoo! JAPAN や Google など）により「京都薬科大学臨床薬学教育研究センター」で検索（URL: <http://labo.kyoto-phu.ac.jp/rinkyo/>）
 - 薬学教育系・臨床薬学教育研究センターの「研究室 HP」をクリック
 - 京都薬科大学臨床薬学教育研究センターホームページ上にある「NEWS&TOPICS」中の『「うっかりドーピング防止活動に対する薬剤師の認識および取り組みに関する実態調査」に関するアンケート調査へのご協力をお願い』をクリック
 - 【アンケート調査】のページ上の赤色の二重線で囲んである中の「うっかりドーピング防止活動に対する薬剤師の認識および取り組みに関する実態調査」に関する入力ホームをクリック
 - アンケートの先頭画面になる
 - ② パスワード（rinkyo）を入力後、指示に従って、アンケートの質問にご回答ください。
 - ③ すべての質問に回答して頂ければ、最後に「送信ボタン」を押して送信してください。
- 以上で、アンケートはすべて終了になります。

《アンケート回答期間》

2019年8月1日～9月30日の2ヶ月間

■アンケートに関する問い合わせ先■

〒607-8414 京都府京都市山科区御陵中内町 5

京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 講師 今西孝至

TEL：075-595-4671

FAX：075-595-4777

E-mail：imanishi@mb.kyoto-phu.ac.jp